



マーヴェリックの足跡 ～ ダニエル・レントツ追悼 ～

1990年初頭、アメリカ大使館主催の現代音楽祭「インターリンク」で初来日したダニエル・レントツ。ディレイ・システムを駆使したカラフルな音色と伸びやかなメロディは、「カリフォルニア・サウンド」として多くの観客を魅了しました。そして、ジーベックホールでもレントツ・グループの公演があり、それがきっかけとなってジーベックの委嘱によるレントツの《Temple of Lament》という新作が生まれたのです。今年7月にレントツの訃報が伝えられました。83歳でした。アメリカの実験精神を貫き、そしてジーベックとのつながりがあったこの作曲家への追悼として、その足跡をトークと演奏によって振り返ります。演奏されるレントツの《aria with parallel organum》(1976)は、声とオルガンのための小品。この中世の聖歌を喚起させるメロディが《Temple of Lament》

の初演者でもある藤田めぐみさんのソプラノと神戸在住の田中祥司さんが製作した超小型パイプオルガンによって演奏されます。1990年代にジーベックホールでは「サウンドカルチャー」というワークショップやレクチャー、パフォーマンスがシリーズとして展開し、サウンド・アートが盛り上がるきっかけともなりました。この「サウンドカルチャー」を継承するために「サウンドカルチャー・コレクティブ」があらたに立ち上がり、音の可能性を広げる活動をスタートさせました。今後の「サウンドカルチャー・コレクティブ」にご期待ください。

藤枝 守：SoundCulture Collective代表



ダニエル・レントツとジーベック

ダニエル・レントツ/Daniel Lentz (作曲家)

60年代、ベトナム戦争を告発するような政治色の強い作品を発表していたが、70年代以降、テーブディレイを使った独自のシステムを駆使して、多層的な音響テクスチャーを生みだすことに成功。その後はロサンゼルスを拠点にした「ダニエル・レントツ・グループ」を結成し、91年にインターリンク・フェスティバルに出演するため来日。そのカラフルなサウンドとメロディアスな音楽は話題になった。ジーベックホールはインターリンクの会場のひとつとなり、また音響スタッフとして全国の公演をサポート。96年、ジーベックの委嘱による「Temple of Lament」が、藤田めぐみ、高橋アキ、ブラッド・エリスによって初演された。

藤枝守 Mamoru Fujieda (作曲家)



作曲を湯浅譲二やモートン・フェルドマンらに師事。植物の電位変化データによる《植物文様》を展開。著書に『増補 響きの考古学』（平凡社ライブラリー）やアマゾン電子書籍『孤高の響き』（字像舎）

など。TZADIKから3枚のアルバムのほかにSarah Cahillのピアノによる《Patterns of Plants》、パラグナによる《ガムラン曼荼羅》など多数。最新のアルバムは《枯野：植物文様ソングブック》。1990年代には、アメリカ大使館による「インターリンク・フェスティバル」の音楽ディレクターやジーベックの「サウンドカルチャー・ワークショップ」を定期的に担当。最近では、サンゴ骨格音響とガムランとを組み合わせた「珊瑚ガムラン曼荼羅」の公演を行っている。九州大学名誉教授。

Ph.D. in Music (University of California, San Diego)

藤田めぐみ Megumi Fujita (ソプラノ)



日本各地、ロサンゼルス、ボストンなどでのソロコンサート、ソウル公演などに出演。第九などのソリストとして各地のオーケストラと共演する一方、数々の近現代作品を演奏し、柱本に作品を捧げた作曲家も数多い。クラシックの他に、ジャズ、ラテン、カンツォーネなど、さまざまなジャンルのコンサートも展開。同時に唱歌のころ、日本のところを伝える活動を続けている。現在、京都新聞コラム《暖流》を執筆中。京都音楽協会賞。日仏音楽コンクール2位。イタリアコンクール入選。《CD》「クロスワード」「VOICES」「John Cage」「My Love Story」他。京都生まれ。京都市立芸術大学声楽専攻卒業。

田中祥司 Shoji Tanaka (オルガン製作者)



小学校の校内放送でバッハの「小フーガ短調」を聴いてパイプオルガンの音色に魅了され、高校では文化祭で玩具もどきパイプオルガンを作る。九州芸術工科大学（現九州大学）音響設計学科卒、大学院修了。大学時代に音響工学や楽器音響学を学び小さなパイプオルガンを製作。電器メーカーでスピーカーや音響機器の設計や開発に従事。その技術を利用した新方式の超小型パイプオルガンを製作。退職後は、趣味で手で持ち運べる超小型パイプオルガンを製作したり、それを使って音楽仲間と演奏活動を行っている。パイプオルガンの超小型化に関する論文を発表、特許を取得済。日本オルガン研究会会員。

+++++
Website : <https://sales.xebec.co.jp/>

Facebook@xebecchall

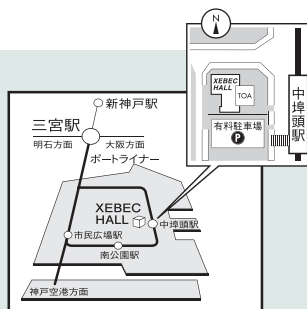
X@xebecchall_kobe

予約：QRコードより申し込み

お問い合わせ先：株式会社ジーベック

神戸市中央区港島中町7-2-1 TEL078-303-5600

+++++



三ノ宮よりポートライナーにて中埠頭駅下車